

CSR調達の取り組み

サプライチェーン全体でCSRを推進

ヤクルトは2018年に「ヤクルトグループCSR調達方針」を、2020年には「サプライヤーCSRガイドライン」を策定し、CSR調達を推進しています。サプライヤーの皆さまとヤクルトの双方で環境・社会に与える影響への配慮やリスクの軽減によりサプライチェーン全体で社会の持続可能性を高めていきます。

CSR調達とは？

CSR調達とは、企業が原材料などを調達するにあたり、品質、価格、納期といった要素に加え、**人権・労働・環境・腐敗防止などのCSR要素を考慮**し、サプライヤーと協働して持続可能な社会を目指す活動を指します。

企業が取引先とともに構築するサプライチェーンはグローバル化が進み、**環境破壊、強制労働、児童労働など**といった、**世界で起きている社会課題**に企業は無関係ではいられなくなってきています。

こうした社会課題の解決に向けて**企業とサプライヤーが協働し、社会全体の持続可能性を高める**ことがCSR調達の狙いです。

グローバルなサプライチェーンにおけるCSR配慮が不十分で問題となった近年の例

労働者の安全配慮不足、人権軽視が最悪の事態に
大手アパレルに製品を供給する縫製工場が入った商業ビルが違法改築により崩落し、死傷者が多数発生。調査の過程で過酷な労働環境も明るみになり、企業がサプライヤーの人権を軽視し、安全衛生管理を怠っているとして強く糾弾されました。

きらめきの影に児童労働

化粧品のパール顔料の原料となる雲母は、インドの採掘現場での児童労働が確認されていました。複数業者の転売を経て大企業に卸されるため、その追跡は困難でしたが、責任を重くみた化粧品大手が中心となり「責任ある雲母イニシアチブ」が発足、雲母採掘の健全化が図られました。

外国人労働者への人権侵害(日本)

日本で働く外国人労働者は166万人(2019年10月末時点)を数え、年々増加しています。しかし、外国人労働者の過重労働や、不当に低い賃金での労働などの社会問題が起っており、日本国内でも「強制労働」は身近な問題です。

こんなことが起きているんだ！



ヤクルトグループの取り組み

CSR調達方針のもとCSR調達の目指す姿を明確化

ヤクルトにとってCSR調達の推進は、経営理念を実現するための重要テーマです。

「ヤクルトグループCSR調達方針」のもと、お取引先の皆さまにヤクルトのCSR調達の考え方をより具体的にご理解いただくため目指す姿を明確化し、積極的なコミュニケーションを図っています。

コーポレートスローガン
人も地球も健康に

企業理念

私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

CSR重点3領域

- 健康
- 地域社会
- 環境

CSR調達の基本方針

ヤクルトグループCSR調達方針

ヤクルトグループは、人権、労働、環境、腐敗防止などにも配慮するCSR調達の重要性を認識し、取引先と連携・協力しながらサプライチェーン全体でCSR調達を推進します。

- 1 法令遵守と国際行動規範の尊重
- 2 人権・労働・安全衛生への配慮
- 3 安全・安心と品質の確保
- 4 地球環境への配慮
- 5 情報セキュリティの保持
- 6 社会との共生

サプライヤーの皆さまへのお願いごと

サプライヤーCSRガイドライン

環境・社会に与える影響への配慮やリスクの軽減によりサプライチェーン全体で社会の持続可能性を高めます。
(詳細は [➡ P.18](#))



サプライヤーCSRガイドライン

お取引先さまへのご依頼事項(要約)

- 1 各国・地域の法令遵守はもとより、国際行動規範を尊重し、公正・公平な企業活動を行い、またそのための体制を整備する。
- 2 世界人権宣言等の国際的な人権の原則を遵守し、安全衛生に配慮した公平で適切な労働環境を整備する。
- 3 高い品質と安全性の確保のための仕組みを構築する。
- 4 環境負荷低減に向けた管理体制の構築、気候変動対応、生物多様性の保全、汚染防止、適切な廃棄物管理と資源の有効利用を行う。
- 5 機密情報を厳重に管理する。
- 6 社会との共生と、持続可能な社会づくりのための活動を行う。

具体的なご依頼事項の例

- ✓ 行動規範や社内規定などの自社の方針について従業員に教育・啓発する。
- ✓ 従業員の労働時間と休日を適切に管理し、従業員の安全と健康を守る。
- ✓ ヤクルトグループと合意し定められた品質水準を守るための管理の仕組みを構築、運用する。
- ✓ 事業活動全体を通して省エネルギーに努め、再生可能エネルギーの利用を促進し、地球温暖化ガスの排出抑制に努める。
- ✓ 情報を適切に管理し、保護する仕組みを構築する。
- ✓ 事業活動を行う地域の課題を認識し、地域との関わりを通じて持続可能な社会づくりに貢献する。

サプライヤー
CSRガイドライン



ヤクルトのCSR活動 についてもっと知りたい方は
CSRレポート2020 をチェック!

